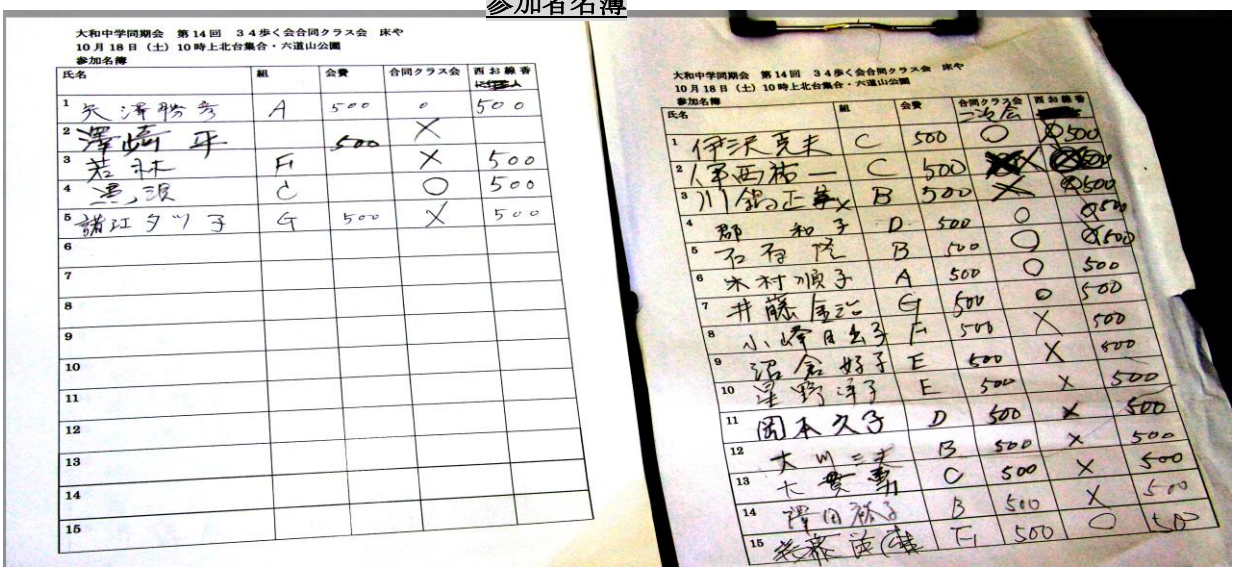
里山民家に到着

昔の農機具展示及び皆で稼働実験(昔を思い出しました)

里山民家内で休憩

都バスにて帰路へ

参加者名簿

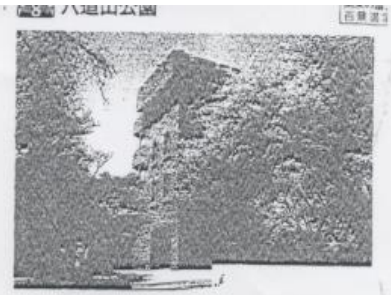


大和中学同期会　第14回　34歩く会合同クラス会　床や
10月18日（土）10時上北台集合・六道山公園
参加名簿

氏名	組	会費	合同クラス会	西お線香
1 矢澤勝秀	A	500	○	500
2 澤崎平		500	×	
3 若林	F1		×	500
4 渡辺	C		○	500
5 諏訪タツ子	G	500	×	500
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

大和中学同期会　第14回　34歩く会合同クラス会　床や
10月18日（土）10時上北台集合・六道山公園
参加名簿

氏名	組	会費	合同クラス会	西お線香
1 伊沢克未	C	500	○	500
2 八木西祐一	C	500	×	500
3 川鍋正美	B	500	×	500
4 鄭和子	D	500	○	500
5 石井隆	B	500	○	500
6 木村順子	A	500	○	500
7 井藤屋治	G	500	○	500
8 小峰日出子	F	500	×	500
9 須倉好子	E	500	×	500
10 望月洋子	E	500	×	500
11 岡本久子	D	500	×	500
12 大[illegible]	B	500	×	500
13 [illegible]	C	500	×	500
14 [illegible]	B	500	×	500
15 [illegible]	F1	500	○	500



第１４回　３４歩く会

六道山公園

上北台駅から「かたくりの湯」を経て六道山へ

多摩都市モノレールの上北台駅に集合し、芋窪部落を通り、鹿島台に登ります。途中、天気が良ければ丹沢の山や富士山がよく見えます。鹿島台からは我らが村山貯水池の周囲道路の遊歩道を西へ向かいます。この遊歩道の脇にはモーテルが点在しておりモーテル街道のようです。

ＢＧＭとして小鳥達のさえずりを聴きながら遊歩道を進み、カブト橋まで歩きます。

カブト橋からは坂道を下ると、「かたくりの湯」に到着です。「かたくりの湯」では昼食をとり、希望者は入湯し、あるいは武蔵村山郷土博物館に寄ったり、都立野山北公園を散策します。野山北公園にはアスレチックもあります。

「かたくりの湯」から野山北公園を抜け、少し歩くと「六地蔵」にでます。この六地蔵は赤痢で亡くなった人達の供養のために安置されています。六地蔵からは良く整備された狭山湖の周囲道路を進みますが、東京都とは思えないような山深い感じがします。

しばらく進むと、須賀神社があり、遊歩道には立派なトイレもあります。ここから六道山はもうすぐです。

六道山は標高 200mのピークで、立派な展望台があり、野外ステージもあり、トイレも完備しております。ここでしばらく休憩しましょう。展望台は３０mほどのビルで、階段をグルグル登ると広い屋上に出ます。屋上からは３６０度見渡すことが出来、素晴らしい眺望です。

西には奥多摩の山、その向こうには富士山が見え、南西には丹沢の山々とその下には米軍横田基地が見えます。また東には新宿のビル群や白い西武ドームの上にはスカイツリーも見えます。

六道山からは谷筋を下ってゆくと、懐かしい「田んぼ」に出ます。この「田んぼ」は、昔の原風景を残すためにボランティアの人達が管理しています。「田んぼ」の先には古民家があり、家の中も自由に見学できます。「いろり」もあります。季節毎のイベントが行われているかも・・・

古民家園からは青梅街道に出て「岸」から都営バスで東大和に帰ります。そして、今日の反省会とクラス会をやり、多いに盛り上がりましょう！（歩行距離；11～12ｋｍ）

六道山公園展望台から望む富士

日時；平成２６年１０月１８日(土)

集合；多摩都市モノレールの上北台駅（１０時集合）

行程；(ﾄ)はトイレ

上北台駅——鹿島台(ﾄ)——遊歩道(ﾓｰﾃﾙ街道)——カブト橋——かたくりの湯(ﾄ・昼食)——
10:00　10:30　11:15　11:30　12:15

——六地蔵——須賀神社(ﾄ)——六道山公園(ﾄ)——里山民家(ﾄ)——岸——(都営ﾊﾞｽ)——南街
12:30　13:15　13:45　14:00　14:30　15:15　15:30　16:00

かやぶき屋根に広い土間
ぼかぼかの暖側でのんびり

注意事項；

① 小雨決行です。

② 昼食は、上北台駅付近で購入が可能ですが、前もってご用意しておくことをお勧めします。

"無題"
第14回　34歩く会
/12/14 11:46:49
六道山公園
上北台駅から「かたくりの湯」を経て六道山へ
六道山
民家園
野山北公園
岸
モーテル街道
バス
南街へ
上北台
狭山自然公園
猿久保
箱根ケ崎
狭山池公園
瑞穂ビューパーク
瑞穂局
瑞穂町役場
箱根ケ崎駅
石畑
大国主神社
殿ケ谷
須賀神社
上州屋
新青梅街道
野山北公園
武蔵村山市役所
本町
二小
三ツ木
八中
中央
三小
中藤
チェリー
青梅街道
大曲り
さし田
ロイヤルホスト
神明
三中
国立村山病院
武蔵村山局
村山養護
小児療育病院
緑が丘
上北台
東大和署
立川
大和線
ユネスコ村
大恐竜探検館
西武球場
狭山不動尊
山口千手観音
尾根道
池田
湿地再生プロジェクト
野の花小径
里山民家
田んぼ
都立 野山北・六道山公園
里山民家
地図上の1センチは 約 250 メートル
印刷中心は 東経 139度23分 8秒 北緯 35度45分26秒

第14回「34歩く会」歩行記

六道山公園

2014年10月18日(土)

今年は１０月に入ってから18号、19号と２つの大型台風が第1、2週の週末に日本列島を縦断した。　幸いに関東地方には大きな被害が無かったようだが、大雨が降った。

今日は第3週目の土曜日だが、空は青く、日本晴れだ。集合時間の30分前に上北台の近くのコンビニに行くと、もういつもの仲間が２人も店内にいる。　集合場所の上北台駅に行くと、矢沢さんや伊西さん等数人が来ている。お互いに元気な再会で話が弾む。　やがて10名、15名と懐かしい顔が集まってきた。

だが、誠に残念な知らせがあり、「34歩く会」の常連で、懇親会の会場でもお世話になった「弐拾四文」の西さんが2か月前の8月16日に急死された。しかも、今回の「34歩く会」の案内を傍に置いていたのだ。　伊澤さんらと相談の結果、今回は会費500円の他に、西さんへのお花とお香典として500円の合計千円を徴収させていただくことにし、本日のウォーキングの後、有志で西さん宅に行くことにした。

集合時間の10分前になって、後藤さんから電話があり、「東大和駅にいるが誰も来てない」とのこと。今日の集合場所は上北台駅であることを告げ、急いできてもらうことにした。

集合時間の10時を過ぎたので、今日のコースや次回のコースの予定などを説明し、大貫さんの指導でストレッチをした。　ストレッチの間に後藤さんも到着し、19名となり、全員で集合写真を撮り、いざ狭山丘陵に向って出発！(10:20)

空は真っ青で、まさに秋晴れだ。空堀川を渡り、「向台老人ホーム」の脇を通り抜けて、奈良橋川を渡ると、狭山33観音霊場の第19番札所の「はやし堂」だ。ここは我々が中学生だった頃は「観音堂」と呼ばれていたところで、大きな銀杏の木があったが、今は墓地と集会場になっている。

青梅街道を横断し、いよいよ狭山丘陵に登る。少し登ると南西の方向が開け、遠くの山々が見渡せる。大山、丹沢の山々、奥多摩の山々も見えるが、残念ながら数日前に初冠雪のあった富士山は薄い雲に隠れている。

ゲートボール場を左に見て進むと、やがて多摩湖遊歩道の「鹿島台」に出る。　すると、何と、いつも参加して下さっている澤崎さんが、遊歩道の橋を渡ってきて合流。
しばらくして皆さんが合流したが、後続の3名がまだ到着していない。Kさんがつまづいて転んでしまったらしいが、でも大事に至らず元気に合流。(10:50)

「鹿島台」からは、良く整備され舗装された多摩湖遊歩道を左側通行で歩く。少し歩くとモーテルが木々に囲まれて２つ並んで建っている。この先は「モーテル街道」で、モーテルがいくつもある。この時間帯は人の出入りが無く、ひっそりとしている。

木漏れ日が注ぐ遊歩道を快適に進むと、前からはウオーキングしている人やランニングをしている人、サイクリングの人達と行き交う。ウオーキングの人とは「こんにちは」と挨拶

を交わしながら歩く。
　鹿島台からしばらく進むと、左下には数年前にテレビでも放映されて話題になった「芋窪のハーレム」の家が見えてくる。我々の仲間が次々にフェンス越しに覗き込む。最近も健在なのかしら、洗濯物が沢山干してあるようだが…
　その先にもモーテルが数件見えてくるが、中には廃業しているものや、ゴミ捨て場になっているものもある。「赤坂」というモーテルの案内板があちこちにあるが、もう廃業しているようだ。ここまで歩いてくる間に何軒のモーテルがあったのか数えられなかった。高台には、上北台の方からも見える「別荘」と呼ばれる建物がある。建て直したようだが、今も住んでいるのかしら。
　清々しい緑の中を快適に進むうちに、多摩湖遊歩道の西端の「かぶと橋」に出る。ここの休憩所で一休み。(11:20)　もう 12 時近いので、「お昼はまだか？」などの元気な声がかかるが、まだ先は長いので、もう少し先まで足を延ばすことにして、早速出発。(11:40)
　大きなカブトムシの形の飾りが乗っているアーチが掛っている「かぶと橋」を渡り、山道に入る。　やや狭い山道は自然そのもので、足に伝わる土の弾力も心地良い。　細い山道をしばらく行くと、道は右下に急に下る。滑りそうなので歩幅を狭めて慎重に下る。
先行して歩いていた 3 名には声をかけたのだが、この坂を下らずに先に行ってしまったが、かなり遠周りになるようだ。
　我々は急坂を下り、給食センターの前に出ると、すぐ先には「かたくりの湯」が見える。(11:50)「かたくりの湯」の前に行くと、女性がニコニコを手を振っている。　諸江さんだ。彼女は本日のゴールの近くに住んでいた地元の人で、前回まで一時参加をお休みしていたが、元気に復帰した。
　「かたくりの湯」の前には武蔵村山の農産物などを売っている露店があり、仲間の数人はブロッコリーなどを買い込みザックへ。　それにしても先行していた 3 名は遠回りしたため、まだやってこない。　しばらくして全員集まったところで集合写真。(12:00)
　昼食の催促があったが、もう少し我慢して、運動場とプールの先の、池の畔のベンチまで歩き、待望の昼食だ！　各自持参のお弁当にかじりつく。(12:05)　女性達からは、お裾分けが次々に配られ、美味しくいただく。諸江さんからはオカキの袋詰めをいただいた。
　目の前の池では釣をしている人が何人かおり、竿を時々振り上げているが、なかなか釣れてないようだ。
森の入り口の静かな処なので、昼食が格別美味しい。
　美味しい昼食で満腹したところで、再出発！(12:30)
　ここからは稲を刈り取ったばかりの田んぼに沿って歩く。稲を刈り取った後の株からは、緑の若葉が伸びている。畦道を進み、田んぼが尽きると、鬱蒼とした山深い山道に入る。鳥達の鳴き声だけが聞こえる谷あいの細い道を登りつめると、尾根道に出て視界が広がる。近くの三叉路には大きな塚が建っており、これが「六地蔵」だ。江戸時代に赤痢がはやり、その平定と亡くなった人への供養のために建てられたものだ。(12:40)
　尾根道の左下には、都立の「インフォメーションセンター」の建物がある。　ここは都立公園の建物で、狭山公園の自然や動植物などが展示されており、４，５名の職員が常駐して

いる。狭山丘陵の動植物のことなどを説明してくれるので、機会があったら寄りたいものだ。

「六地蔵」からは、狭山湖の周囲道路を歩く。 平坦で良く整備された歩きやすい土の道が続いている。 今日は秋晴れで日差しが強いが、頭上には木が茂り、木漏れ日が適当に射し込んでいるので、明るく、快適に歩が進む。

やがて武蔵村山市から瑞穂町に入ると、須賀神社の奥社があり、立派なトイレもある。ここで一休みして、後方を歩いてきた人と合流する。(13:10) ここからは六道山はもう近い。遊歩道を緩やかに下り、再び緩やかな上りになると、前方に六道山の展望台と野外ステージの茶色い建物が見えてくる。 途中でサイクリングクラブの人達に出会い、明日の民家園のイベントの案内をいただく。

皆さん気持ち良く、快適に歩いてきたので、六道山の山頂には予定よりも早く到着(13:20)。ここまで長い距離を歩いてきたので、ここで大休止の予定だが、何と皆さん元気で、すぐに展望台へ登り始める。展望台は5階建ての細長いビルで、ここをフーフー言いながら一気に登り詰めると屋上に出る。 屋上は360度見渡せ、木々の向うには西武ドームとその上にはｽｶｲﾂﾘｰがやや霞んで見える。 大山や丹沢の山や奥多摩の山々も良く見渡せたが、残念ながら富士山は薄い雲の中で見えない。新宿のビル群や立川方面の建物など、皆でワイワイ確認しながらの楽しい一時だ。

展望台から降りて、全員で集合写真の後、再出発。(13:35) 先ほど歩いてきた道を百メートル程戻り、右下の細い山道を南に下る。急な坂道で、滑りそうなので、歩幅を短くして慎重に下る。 細い山道を下って行くと、右手にはその昔水田であったと思われる湿地が草に覆われている。更に進むと視野が開け、刈り取ったばかりの「田んぼ」が広がっている。「田んぼ」の中ほどには、刈り取られた稲が束ねられ、まとめて立てられている。 いろいろな種類の稲を作っているようで、「赤米」はまだ刈られずに残っている。

田んぼの周りにはススキの穂が伸びて、ゆったりとした田舎の風景が広がっている。そんな田んぼの曲がりくねった畦道を歩いて行くと、ススキの向うに茅葺の民家が見えてくる、民家園だ。(14:00) 民家園の裏手に回ると、刈り取った稲が沢山集められており、昔ながらの脱穀機や唐箕が並んでいる。脱穀機は足踏み式で、我々が幼少の頃、あちこちからガーコンガーコンという音を立てて活躍していた機械だ。針金が沢山植えられた大きな円筒を回転させて稲から籾を払い落す機械だ。これは明日、当民家園のイベントに使うために準備しているものだが、イベントのおじさんと話し、この機械を動かす体験をさせていただいた。大貫さんも尾又さんもご機嫌に足で漕ぐ。

その隣には木製の唐箕(とおみ)が置いてある。脱穀した籾を上の方から入れて、風を送ってゴミを飛ばし、重い籾だけを取り出すものだ。この唐箕もいじらせていただく。

民家園の母屋に入ると、広い土間があり、畳の座敷が４，５部屋ある。土間続きの部屋には囲炉裏があり、火が燃えており、鉄瓶が掛けられている。囲炉裏の片隅には懐かしい「消し壷」も置いてある。小縁に座り、説明員の人にいろいろ聞くと、この家は東大和の宮鍋宅をモデルにして造られたものだそうだ。 土間の上を見ると、太く曲がりくねった梁が何本も組み合わされており、天井も高い。我々の幼い頃の家そのままで、懐かしく、落ち着く。土間には「へっつい」があり、大きな釜が並んでいる。

この母屋の表には藁で造った大きなトトロも立っている。入口には「竹馬」も置いてあり、石原さんたちは昔を思い出し、すぐに上手に乗りこなす。女性も次々に挑戦するが苦戦している。　母屋の前でトトロと共に集合写真を撮る。　あれ！日橋さんと矢沢さんがいない。どうしたんだろうと家の中などを捜すと、家の脇の垣根の間から二人が現れ、手に袋を提げている。「瑞穂に来てくれたんだから瑞穂のおダンゴよ、タイ焼きもあるよ」と日橋さん。ご主人に買ってきていただいたそうだ。　せっかくなので、お言葉に甘えて全員でごちそうになる事にし、裏の芝生に全員で丸く座る。　おダンゴを一本づつ、タイ焼きは女性を優先していただく。　「米のダンゴだ！」「美味しい！」「懐かしい味だ！」などと声が飛ぶ。

美味しい米のダンゴを頬張り、楽しいおしゃべりの一時だ。　近くを通る人たちも、うらやましそうに見ている。青空の下、ススキに囲まれた芝生の上で、全員幸せな気分になる。日橋さん、ごちそうさま！

民家園の表門を出ると、さまざまな姿や顔の案山子が並んでいる。　少し前にコンテストをやったようで、「特賞」などの賞が付いている。　そんな案山子たちに挨拶してゴールのバス停に向かう。(14:40)　途中、今回参加されているMさんが少し前まで住んでいた家の前を通る。　「岸」のバス停にあと一歩というところで、八王子方面に帰る人が乗る予定の「箱根が崎」行きのバスが出発してしまった。　我々は東大和方面に行く都バスを待つ。　都バスは１０分ほど遅れて到着。(15:10)

今日は歩行距離が少し長かったが、全員無事に元気に完歩出来た。　次回の将軍塚にも、また沢山の仲間と共に元気に参加しよう！

東大和に到着してから、有志８名で西さん宅に行き、ご霊前に今日の参加者からの献花とお香典をあげ、お線香を手向けご冥福をお祈りした。

その後で７名が庄やで乾杯し、今日のエピソードなどで大いに盛り上がった。　さらに元気にビッグボックスに行き、カラオケでも盛り上がった。

［歩行実績］

上北台駅——鹿島台——遊歩道——かぶと橋——かたくりの湯——野山北公園(昼食)——
10:00 10:20 10:50 11:20 11:40 11:50 12:00 12:05 12:30

六地蔵——須賀神社奥社——六道山公園——里山民家園——岸ﾊﾞｽ停——南街
12:40 13:10 13:20 13:35 14:00 14:40 15:00 15:30